



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（沖縄要人来日、訪米）（ナカヨシ良新他計8名第一次訪中団（中日友好協会招待）47.1.14～2.1   外務省外交史料館レファレンス番号：H220443）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.1   公開日：平成22年11月26日   外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(16)   CD・DVD番号：H22-004
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

十カヨシ

良新

他計

8名

第一次訪中団

(中日友好協会招待)

47

1

14

3

2

1

27-1600

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

34

秘

- 大政事外外儀官
- 務務典房
- 次次
- 臣官官審審長長
- 儀儀人電厚計
- 文会管給
- 調査長
- 参企析調
- 参領旅査移
- 参地中東
- 長北東西
- 参北北保
- 参一二
- 参西東洋
- 参西東
- 近ア長
- 参書近ア
- 次総経国資
- 長経協長
- 参質統
- 参政技一理
- 国企二
- 参系協規
- 長国
- 参政経科
- 長情長
- 参道内外
- 文長
- 参一二

電信写

総番号(TA) 930 主管  
 71年1月8日16時30分 沖 建 発  
 71年1月8日17時03分 本 省 着 米比1

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

おきなわからの訪中団

第16号 略 至急

1. 日中友好協会正統本部の働きかけにより、おきなわから次の8名が初めて中国を訪問することになった。

けん労協議長 ナカヨシ(良新(団長))  
 りゅうきゅう政府八重山支庁長 ミヤサト長義  
 復帰協事務局長 ナカソネ(サトル)  
 軍港湾委員長 ショウドウ(カキチ)  
 おきなわタイムズ記者 ヤフソ(チユウケイ)  
 おき教組書記長 フクチ(ユウシヨウ)  
 全軍労委員長 ヨシタ(イサム)  
 自治労けん本委員長 キシモト(チユウザブロウ)

一行は1月8日、9日の2班に分れて出発し、東京に向つた後、東京において2名(うち1名は市川総評議長の模様)と合流し、1月12日東京発、1月13日帰国、2月4日帰ちゅうの予定で、中国においては準国賓として扱われる由である。

2. 出発を前にナカヨシ団長は7日午後7時から復帰協で

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

記者会見し、昨年12月27日に中日友好協会(北京)から東京の日中友好協会正統本部を通じて招待電文を受けた。今度の訪問は中国人民とけん民レベルの友好を深めるためのものだ。中国とりゅうきゅうは歴史的にも深いつながりがあるし、いま新たな世界情勢の大きな流れがあるなかで労働者勤労けん民と中国人民の友好が深められることは意義深いと思う。これを突破口にして次には数百人規模の交流団を派遣できるようにしたい」と語つた由。

3. なお、ナカヤマがりゅう警より聞いたところ、小山内ヒロシが中共に行つた際、中共側よりおきなわの軍事基地の資料の提供を依頼されたため、今回の代表団は原水協発行の教宣資料として次の4種類各20部携行することになっているとの由。

- (1) おきなわの米軍用地図
- (2) おきなわの軍用地の実態
- (3) おきなわ返かんと自衛隊米軍基地の動向
- (4) 原潜と核兵器
- (5)

(字手交済)

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 5670 主管  
 72年 2月 3日 14時 50分 沖繩 発  
 72年 2月 3日 15時 03分 本省 着

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

第一次おきなわ訪中団帰る

第64号 平

往電第16号に関し

第一次おきなわ訪中団(ナカヨシ良新団長ほか8人)は、日午後7時過ぎ帰ちゆうした。

一行は中日友好協会の招待により、1月4日から広州、北京、大サイ、南京、上海をまわり、北京ではユウオンライ総理、王国権中日友好協会副会長らと会談した。ナカヨシ団長らはナハ空港の記者会見で次の通り述べた。(1)中国側は5月5日のおきなわ返かんはハテンとみるが、完全復帰に向けての初歩的な勝利と評価し、中国人民はおきなわの闘争が勝利するまでだんこととして支援する。(2)核兵器について中国は、最初に絶対に使用しないとの態度をえいきゆうにけん持し、核兵器の廃止のため更に努力するとのことで、中国は攻撃を受けない限り、核兵器を初めに使用しておきなわを攻撃しないと話したので安心した。(3)おきなわと中国間の人事、文化交流をはじめるとともに、経済交流は国貿促(国際貿易促進協議会)を通

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

じて、当面ホンコン経由で貿易がなされるだろうが、日中国交回復の将来は上海航路の開始も考えられ、日も早く実績を積み重ねていくことが重要である。(4)中国からのおきなわ訪問についてもおきなわ側の受入れ準備が進めば、できるだけ早い機会に派遣したいとのことだつた。(5)今年はお勤者、農民、文化団体などの訪日が見込まれており、復帰前後の早い時期におきなわにもぜひ来てもらいたいと思う。

なお、訪中団員のうち、ナカヨシ・サトル復帰協事務局長、ヨシダ・イサム全軍労委員長は所用で東京に残り、この日帰つたのはナカヨシ団長、ミヤケ八重山地方庁長、フクチおき教組書記長、キタモト自治労委員長、マツボシ全港湾おきなわ支部委員長、ヤフジおきなわタイムズ記者の6名であつた。

(了)

大政事外外儀官

務次 典房  
 官官審審長長  
 儀総入電厚計  
 書文会營給

調査長 参企析調  
 長領移 参領旅査移

参地中東  
 長 北東西  
 参北北保  
 中 参一二  
 南 参西東洋  
 番 西東  
 欧 長

近 参書近ア  
 了 長 次総経国資  
 経 源  
 長 参貿統国  
 経 参政技一理  
 協 国企二  
 長 参参協規  
 国 参政経科  
 長 車社專  
 情 参道内外  
 長 参一二  
 文 長

